



神奈川県立

上溝南高等学校

創立50周年記念誌

おかげさまで50周年。
今までも、これからも、
生徒の想いを紡ぎながら
未来へと続いていく、
「上南の糸」。

上溝南高等学校は、創設以来、
「豊かな人間性と社会性を備え、社会に貢献し、
リーダーとして次世代を担う人材の育成」を
教育目標に、これからの時代に求められる
資質・能力の育成に取り組み、
生徒一人ひとりの可能性を広げ、高め、
日々成長続けています。

そのような16,000名を超える卒業生、在校生の
『上南』を大切に想う心、『上南』を愛する糸は
『上南プライド』を育み、『上南ブランド』を磨き、
過去から未来へと、
さらなる歴史の糸を紡いでいます。



01 学校について
02 ご挨拶
03 祝辞・メッセージ
04 沿革

05 変遷
06 部活動
07 学校行事
08 課外活動・トピック

09 PTA活動
10 進路先一覧
11 歴代教員一覧
12 あとがき

INDEX

教育目標

豊かな人間性と望ましい社会性を備え、地域や社会に貢献し、
リーダーとして次世代を担う人材の育成

教育方針

知

基礎的・基本的な学力の確実な
習得の上に思考力・判断力・
表現力を育成し、自立した一人
の人間として、社会をたくま
しく生き抜く力を培う

徳

高い徳性と
豊かな情操を養い、
自他のいのちを尊重する
教育を推進する

体

生涯にわたって
健康・安全に
生きていくために
必要な身体能力、
知識の育成を行う

- [一人ひとりのキャリア教育による進路希望実現]
- [地域とともに学ぶ、地域連携]
- [活力ある学校行事・部活動]
- [一人ひとりのニーズに応えるきめ細かな学習指導]
- [事故防止と安全安心な教育環境整備]

KAMINAN GRAND DESIGN

校章



校名の神奈川県立・上溝南・高等学校の3つのKを
図案化している。

南は、暖かさ、明るさ、また万物が育ち、
萌えいずるさまから校名を表すとともに、
清新澆刺とした校風育成の願いを込めている。

校歌

作詞：伊従博
作曲：水谷暢宏

1. 相模野の 空青く 視野 かぎりなし
創造の 英知もて
ここにどう 修学の自主と自律に
ああわれら ああわれら よき師と 朋をもてり
2. 大河のゆたかさに 不壊の真玉と
鋼 なす
心身の 清き うるおい
鍛錬は 明かく澆刺と
ああわれら ああわれら よき時機 処得たり
3. 相模嶺の 山並の
高き 啓示よ
仰望の 虹かざし
深く到らん 新しき世紀の付託に
ああ母校 栄光の 上溝南 高等学校

KAMINAN

50TH



創立50周年を迎えて

創立50周年記念事業
実行委員長
芳尾 詔彦

神奈川県上溝南高等学校が、創立50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

創立当初から地域の方々からのご支援、歴代の校長先生をはじめとした教職員のみなさんの熱意ある教育活動、併せてPTAや同窓会のみなさんの、力強いご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

私は46期のPTA会長として、まだ新型コロナウイルス感染拡大の余波を受けていた頃、生徒のために何が支援・協力出来るのかを皆と工夫し活動を行ってきました。生徒も学校行事を積極的に参加して楽しむ姿勢が見えて、高校3年間という時間を大切にしていることが伝わってきました。

また、生徒を災害から守るという側面からも南校舎や体育館の耐震化工事も取り組まれており、更なる将来に向けて着々と準備を進めております。

良くも悪くも人生100年時代を迎え、様々な社会的課題を乗り越え、1人1人のいのちが輝く持続可能な地域社会を実現するため、環境豊かな上溝南高校で様々なことを経験して、自ら考え、自らの将来に向けた土台が固められるようになっていってほしいと思っています。

最後になりますが、これまでの50年に積み上げられた伝統を次世代に受け継いで更なる発展を遂げられることを期待するとともに、教職員、在校生及びご家族、卒業生、地域のみなさんのますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



無限のチャレンジへ (50周年を迎えて)

第16代校長
河合 豊

本校は昭和51年4月に新設百校計画の第4回目の学校として開校し、今年度で創立50周年を迎え、16,000人を超える卒業生が県内にとどまらず社会の中の各界で活躍しています。

創立当初は、相原高校敷地内のプレハブ校舎でのスタートで、『徳・体・知の調和のとれた『豊かな人間性を養い、高い人格と見識を具えた有為な人材の育成をめざす。』との目標を掲げており、その精神は、現在の学校教育目標にも脈々と受け継がれています。

いつから使われているのでしょうか「上南(かみなん)」の愛称で現在に至り、生徒たちは清新澁刺とした校風の中で「無限のチャレンジへ」を合言葉に、常に自分を超えていけるよう、授業、行事、部活動や委員会活動など何事にも真剣に挑み続けています。

現況は、県より引き続き2期目の「授業力向上推進重点校」の指定を受け授業力向上研究を継続中です。また、部活動は3年間継続した生徒の割合が約80%と非常に盛んです。近年、運動部では複数の部が関東大会に出場し、文化部では生物探究部が昨年度林野庁長官賞を受賞しました。各委員会も活発に活動しており、「上溝さくらまつり」「上溝イルミネーション」、「ホテル観察会」等々地域との連携も盛んに行われています。

休日でも生徒の声がこだまし、素敵な笑顔が絶えない「上南」です。次の10年、そして70周年、さらにはその先の100周年に向けて、よき伝統を継承していくとともに「無限のチャレンジ」を続けてまいります。



創立50周年を迎えて

PTA会長
尾形 祐子

この度、上溝南高等学校が創立50周年を迎えられました事を、PTAを代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。

月1回の定例会の日、校門を抜けると運動部の活気ある声、楽器の音色が響き、すれ違う生徒たちは明るく元気な挨拶をしてくれ、重い荷物を持っていれば声をかけて手伝ってくれます。そんな生徒たちの姿を見ることができて、何か力になりたいと思い活動しています。

公立校という決められた枠の中で特色ある教育方針を推し進めることは難しいことが多いとお聞きますが、上溝南高等学校は行事も多くまた部活動も盛んで成績を残している部がいくつもあります。公立校としてはなかなか類を見ないかと思います。文武両道を目指し、子ども達を導いてくださっている校長先生を始め教職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。これからも成長し続ける子ども達の豊かな人間性を育む場として歴史を積み重ねていけることを願っています。もちろん私達PTAもこれからも「学校・保護者・地域」が共に手を取り合って歩んでいけるように行事などのお手伝いを通して尽力させて頂きたいと思っています。

結びになりますが、上溝南高等学校の益々の発展と関わる全ての方々のご活躍を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉にかえさせていただきます。



お祝いの言葉

神奈川県教育委員会
教育長
花田 忠雄

神奈川県立上溝南高等学校が、創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

上溝南高等学校は、昭和51年4月に相原高等学校内の仮設校舎で開校し、翌52年に相模原市上溝の本校舎に移転して、現在まで1万6千人余りの卒業生を送り出してきました。

豊かな人間性と望ましい社会性を備え、地域や社会に貢献し、リーダーとして次世代を担う人材の育成を教育目標に掲げ、知・徳・体のバランスの取れた生徒を育成しています。

部活動も活発で、全国大会や関東大会に多くの運動部が出場しており、文化部もコンクールや研究発表等で実績をあげています。

令和3年度に「かながわ部活ドリーム大賞」で、グランプリに輝いたことはそうした実績が高く評価されたものです。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめとした教職員の皆様のご尽力をはじめ、PTAや同窓会の皆様、開校以来学校を支えてくださった地域の方々のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

上溝南高等学校が、このたびの創立50周年という大きな節目を契機に、これまで築き上げてこられた伝統を基盤に、近年大きく変化している社会状況に柔軟に対応しながら、さらなる飛躍を遂げられることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



上溝南高等学校創立 50周年記念に寄せて

同窓会会長
下園 尚人

皆様、こんにちは。

このたびは、上溝南高等学校創立50周年を迎えることができましたこと、心よりお祝い申し上げます。この節目の年を迎えるにあたり、50年間の歴史と伝統を築いてきたすべての方々に、深い感謝の気持ちを伝えたいと思います。

本校は、1976年に創立されて以来、「かみなん」の愛称で親しまれ、相模原市を中心とする地域社会との連携を大切にしながら、教育に励んできました。多くの卒業生が社会で活躍し、その名を馳せていることは、我々同窓会の誇りであり、学校の誇りでもあります。先輩方が歩んできた道を引き継ぎ、後輩たちがまた新たな歴史を刻んでいく姿を見ることがするのは、何物にも代えがたい喜びです。

今回の50周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを懐かしく振り返り、今後の発展に思いを馳せる貴重な機会となりました。今後も、この素晴らしい伝統を守りつつ、次の50年に向けてさらなる飛躍を目指していきましょう。

最後に、創立50周年の日を迎えるにあたり、関係者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。そして、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



創立から半世紀

生徒会長
詫摩 朝陽

今年、上溝南高校は創立50周年を迎えました。創立から半世紀もの間、先輩から次の世代へと伝統が受け継がれてきました。それだけではなく、行事や部活動では数々の新記録や実績が残されています。そして、校舎や体育館の改修工事が行われ、上溝南は進化を遂げています。

高校生活は人生に一度しかなく、勉強や部活、恋愛や友人関係など、今この瞬間しかできないことが数え切れないほどあります。私は高校生活を何に一生懸命取り組むのかと聞かれたら、絶対に部活動だと答えます。部活動では、技術が上がるのはもちろん、仲間との絆が深まり、一生の友達ができたり、部活動を通して、人として成長できると考えています。そしてこれらは、人生において役立つ経験になると私は信じています。

人生において大切な高校生活を上溝南高校で過ごせる事を大変喜ばしく思います。そして、上溝南高校で学んだことを、これから先困難や壁にぶつかった時に思い出し、乗り越える糧にしていきたいと思います。

改めて、この50周年という上溝南高校にとって記念となる年に、第48代生徒会長に就任させていただいたことを感謝すると共に、次の60・70周年、そして百周年の先まで上溝南高校の伝統が受け継がれ、この学校がさらにより良いものになることを心から願っております。

上溝南高校のさらなる発展と進歩を祈念し、生徒会長としての50周年のご挨拶とさせていただきます。



挑戦と絆の50年

第15代校長
坂本 聡志

神奈川県立上溝南高等学校が、創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

私は、令和3年度から3年間、校長として在籍しました。私の高校時代の陸上競技の最大のライバルがいた当時から強豪校であった「上南(カミナン)」に赴任することは、何か運命的なものを感じました。そして、私が赴任する前までの数年間、運動部が関東大会や全国大会に出場できていなかった状況でしたが、赴任した年にタイミングよく陸上競技部と男子バスケットボール部が、関東大会出場を決め、翌年以降、関東や全国に出場する他の部活動も増えました。こうした結果は、顧問として指導する先生たちの熱意と挑戦する心を強く持ち続ける生徒たちの情熱があつてのことだと思いますが、やはり50年という長い上南の歴史を紡いできた同窓生の力の賜物と感じています。

今後も上溝南高校の100周年までの長き道のを教職員、生徒、同窓生、そして在籍していた教職員が、一丸となって新たな歴史の糸を紡いでいってほしいと願っています。



上溝南高校、 幸せな学校

第14代校長
大沢 利郎

創立50周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

上溝南高校を振り返ると、本当に幸せな高校だと感じます。生徒の誠実さ、その生徒のために懸命に手を尽くそうとする先生方の関係性がとても素晴らしい学校です。

毎年横浜で、全公立高校合同の学校説明会「全公立展」が開催されますが、私の経験では中学生の保護者の「カミングアウト率」が一番高い学校でした。「実は私もカミナンの卒業生なんですよ」とおっしゃる顔は、どれもなつかしさと楽しかった思い出にあふれた素敵な表情でした。きっと開校当初から営々とその生徒と職員の素敵な関係を紡いでこられたからだと思います。

私はわずか2年間の校長であり、さらにそのうち1年はコロナ禍でしたが、オンラインでのホームルームや授業の対応が県内トップクラスの速さで行われたのも、生徒の皆さんの学校生活を早く取り戻してあげたいという職員の強い思いのなせる所でした。そんな幸せな学校が、これからも末永く盛んであることを、願っています。



チームでチャレンジ!

第13代校長
程島 宏美

創立50周年、おめでとうございます。着任は40周年の翌年、50周年に向けて新たな一歩を踏み出す年でした。それまでの上南の良さを活かしつつ、予測が難しい次の時代を、たくましく生き抜いていく人材を育成すべく、新たな風が吹くように心がけました。

手始めに、正門横の鬱蒼とした林を刈り込み、光あふれる、風通しの良い環境にしました。学力向上チャレンジプランやSFP(サイエンス・フレンドリー・プログラム)、上南らしい学校行事の活性化を、バンダバンダとともに、学校一丸で実践していきました。

合言葉は「チームでチャレンジ!」。生徒、教職員、PTAのチーム力は抜群で、特に先生方がそれぞれの持ち味と魅力ある人間性を以て生徒に向き合った結果、生徒は日々輝きを増していきました。上南祭を始め、各種学校行事、地域連携活動、部活動、第100回全国高校野球選手権神奈川大会での選手宣誓等、生徒の輝かしい姿に沢山の感動をもらいました。生徒のために苦労を厭わない先生方には、今でも感謝の気持ちで一杯です。

当時制作した学校案内の全ページを貫く「KAMINAN」の糸は、人と人を繋ぎ、上南の歴史を紡いでいきます。その糸が今後も、上南に関わるすべての人を繋いで行きますよう、心より祈念しています。



創立50周年を 迎えて

職員
下島 一郎

上溝南高校が、記念すべき創立50周年を迎えることとなりました。私は、平成22年に着任し、現在まで15年間勤務しています。15年間様々なことがありましたが、その中でも令和2年度は、コロナ感染症のため1学期間自宅学習が続くなか、生徒・教員が協力し、短い準備期間の中で文化祭・体育祭を実施できたことは、非常に印象に残っています。

部活動においても年々盛んになってきており、令和3年度に「男子バスケットボール部」「陸上競技部」が関東大会に出場し、「神奈川県部活動ドリーム大賞・グランプリ」を受賞することができました。令和4年度には「男子バスケットボール部」が2年連続、「ソフトテニス部」「男子ハンドボール部」が関東大会に出場し、令和5年度には「ソフトテニス部」が関東大会・全国大会出場と徐々に実績も上がってきています。

今後も他の部活動も後に続き活躍していくことを期待し、上南がさらなる発展を遂げていくことを祈念しております。がんばれ上南！



上南50歳の 誕生日をお祝いして

旧職員
岡元 剛志

上溝南高等学校の創立50周年を心からお祝い申し上げます。

私は、令和6年3月まで10年間、勤務させていただきました。着任式で、元気いっぱい迎えてくれた生徒たちの笑顔がとても印象的で、また、部活動や学校行事では主体的に活動し、協力し合い、成功に向けて仲間と一丸となり突き進んでいく生徒たちの姿に感動しました。文化祭の昼フェスでは、各クラスや各部それぞれが工夫を凝らし、練習を積んで本番に臨み、観衆から拍手喝采を浴び、満足感や達成感に満ちた誇らしげな表情がとても素敵でした。職員もそのような生徒からたくさんの元気と勇気をもらい、生徒と共に歩いていくことの喜びをかみしめていました。地域との連携も目玉のひとつです。農家の方の指導の下、手足、顔を土で真っ黒にして、育て収穫した大根の味は格別でした。近隣の方々にも味わっていただきました。生徒、職員、PTA、地域の協力で上南はさらに飛躍を遂げると確信しております。



1期生で築いた 伝統を誇りに

旧職員、1期生同窓生
関口 一雄

昭和で数え100年の今年、上溝南高校は創立50周年を迎え誠にありがとうございます。

私は昭和51年4月に入学し大学卒業後に上南の体育科教諭として12年間勤務させていただきました。現在、部活動インストラクターとして陸上部の指導にあたっています。

1期生は相原高校に仮校舎としてプレハブ校舎4クラス179名でスタートしました。入学後の毎日は夢に描いた高校生活とは全く違いプレハブに容赦なく降り注ぐ暑さ寒さ、時折鼻を衝く農場の臭い、部活動ではグラウンドはなく相原高校の生徒さんに気を使う肩身の狭い中での活動でした。そんな毎日、初代の杉山校長先生をはじめ先生方は上南の未来を見据え厳しい環境の中、熱意ある指導で1期生は遅くも成長できました。昨年開催した第10回同窓会では昔話に花を咲かせ恩師の先生方に感謝の気持ちを伝えることができました。

50周年を迎え学校を訪れ活発にイキイキした姿で部活動に取り組む上南生の姿を目に昔を思い出しながら築いてきた伝統が更に膨らんでいることに誇らしく思いました。

おわりに上溝南高校の益々のご発展とご健勝を祈念し祝辞とさせていただきます。



「あの頃」の 「あの日の約束」

12期生同窓生
西田 真一

神奈川県立上溝南高等学校が、創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。と、同時に、上南に対する感謝の気持ちでいっぱいです。私が上南に通っていたのは、1987年からの3年間でした。「あの頃」は、全てが楽しく、全てに刺激があり、全ての出来事が輝いていました。毎日上南に行くことに幸せを感じていました。が、勉強に関しては…ですが。そして、「あの日の約束」は、私の心の中心にあり続けていて、核となり、人生の励みや進むべき道「指標」となり、今でも歩き続けています。

それは、「デザイナーになること」でした。私は、「あの日の約束」通り、デザイナーになり、現在は、クリエイティブディレクターとして仕事をしています。そして、再び、この上南に戻ってきました。前頁でメッセージをいただいております、程島校長先生から素敵なお縁をいただき、今現在、夢であったクリエイティブディレクターとなり、上南の学校案内パンフレットやポスター、そして、50周年の企画にも参画させていただいております。「あの頃」の想いが、このようなカタチになったことは、とても光栄で、嬉しい気持ちでいっぱいです。

「KAMINAN」の糸は、人と人を繋ぎ、上南の歴史を紡いでいきます。確実に私も上南から始まった、この「糸」の1本だと実感しています。皆さんの「あの頃」の夢や想いは繋がっていますか？これからも「KAMINAN」の糸を上南のみんなで紡いで行きましょう！



青春謳歌

42期生同窓生
永田 英蓮

この度は、神奈川県立上溝南高等学校創立50周年おめでとうございます。

2020年の卒業から早5年が経ち、学生時代を大変懐かしく感じています。

上南祭や修学旅行などの行事。友達と勝負しあった定期テスト。部活動の掛け声や楽器の音が響く放課後の校舎。大好きな同期、先生方に囲まれた3年間は大変有意義なものでした。

大人になると、学生時代の思い出がふと胸に過ぎる瞬間があります。そして多くの方がこう思うのです。「もっと勉強してもっと遊んでおけばよかった」と。私もその1人です。当時は目一杯楽しんだつもりでしたが、大人になった今、もう一度「青春」を味わいたいと思うのです。

だからこそ皆さんには悔いのないよう、限られた時間を心から楽しんで欲しいです。思いっきり遊んでください。はしゃいではしゃいで、遊び疲れてもまた遊んで。もちろん勉強も大切です。たくさん笑い、たくさん努力し、青春を謳歌してください。「これが青春!」と思う間もなく楽しめること自体が青春です。

勉強や遊びに追われあつという間に過ぎる3年間は、数年後、数十年後、間違いなく皆さんの「財産」になります。今この瞬間を楽しんでください。

母校の益々の発展と教職員、生徒の皆さんのご活躍を祈念し、御祝いの言葉とさせていただきます。

